

新たにコミュニティバス始動



より良い公共交通を目指して

町は、平成31年3月に策定した「山田町地域公共交通網形成計画」に基づいて「まちなか循環バス」を運行させるなど、復興後の新たなまちづくりにふさわしい地域公共交通ネットワークの実現に向けて取り組んでいます。今年4月には、新たにコミュニティバス「やまだコミバス」の試験運行を開始し「まちなか循環バス」の運行経路なども見直しました。今号では、町が運行する2つのバスの運行内容などを紹介します。

患者輸送バスを見直し「やまだコミバス」運行

4月から始動した「やまだコミバス」は、昨年度まで長年、通院支援のため運行していた患者輸送バスを、より使いやすい「地域の足」として見直したものです。

で、だれでも、どのような目的でも利用できます。

路線バスとのルート重複や料金が無料であることで生じていた不平等感など、患者輸送バスの運行上の問題点や交通空白地を解消するため、コミュニティバスとしての運行に切り替えたものです。

当面は試験運行を行い運行上の課題など把握

コミュニティバスの運行に当たっては、住民の皆さんからの声を反映させるため、昨年10月から11月にかけて、路線バスの一部路線の廃止や減便の対象となる地区を対象に住民懇談会を開催しました。お寄せいただいた意見や要望などを基に今回事

業化を進めたものですが、さらに実際の運行上の課題や利用上の問題点などを把握するため、当面は試験運行を行います。

◎住民懇談会での意見・要望

- ・患者輸送バスが運行していなかった地区も運行してほしい
- ・停車する所を増やしてほしい
- ・1年に1度は運行内容の見直しをしてほしい
- ・もっと細かい所を走るルートにしてほしい
- ・好きな所で乗れる、または降りられるようにしてほしい
- ・運賃200円は妥当
- ・停留所に屋根を付けてほしい

「まちなか循環バス」も運行経路や本数を変更

昨年4月から試験運行を行っている「まちなか循環バス」も運行ルートや運行本数が変わりました。利用者へのアンケート調査で、大沢方面や道の駅までの運行など改善を望む声が出ていたことや利用状況調査の結果を踏まえ、運行内容を見直したものです。

◎見直した後の内容

- ▽運行ルートの追加 ▼道の駅ルート▼大沢・浜川目ルート
- ▽運行本数の削減 1日8本↓平日6本、土曜日4本、日曜日・祝日は運休

さらなる利便性向上で地域を支える公共交通

公共交通は、利用する人があつてこそ運営できるもので、町が事業化した「やまだコミバス」や「まちなか循環バス」も同様です。運行事業者に経済性や効率性が求められることは言うまでもなく、そのためにも多くの地域住民が利用しやすい運行を目指す必要があります。

また、岩手県北バスが運行する路線バスやタクシー事業者、三陸鉄道など、町の交通機関を支え維持することも重要です。町では、今後も住民の皆さんからご意見などをお聞きし、より良い公共交通をつくり、地域を支えていく仕組みづくりに努めていきますので、ご理解をお願いいたします。

下記経路図は略図となりますので、詳細は広報やまだ4月1日に折り込みの時刻表をご覧ください。町政策企画課や各支所、陸中山田駅でも配布しています。

やまだコミバス

利用の際は「やまだコミバス」と書かれたのぼり旗か、時刻表の貼られた公共施設の前でお待ちください。



運賃(一律)

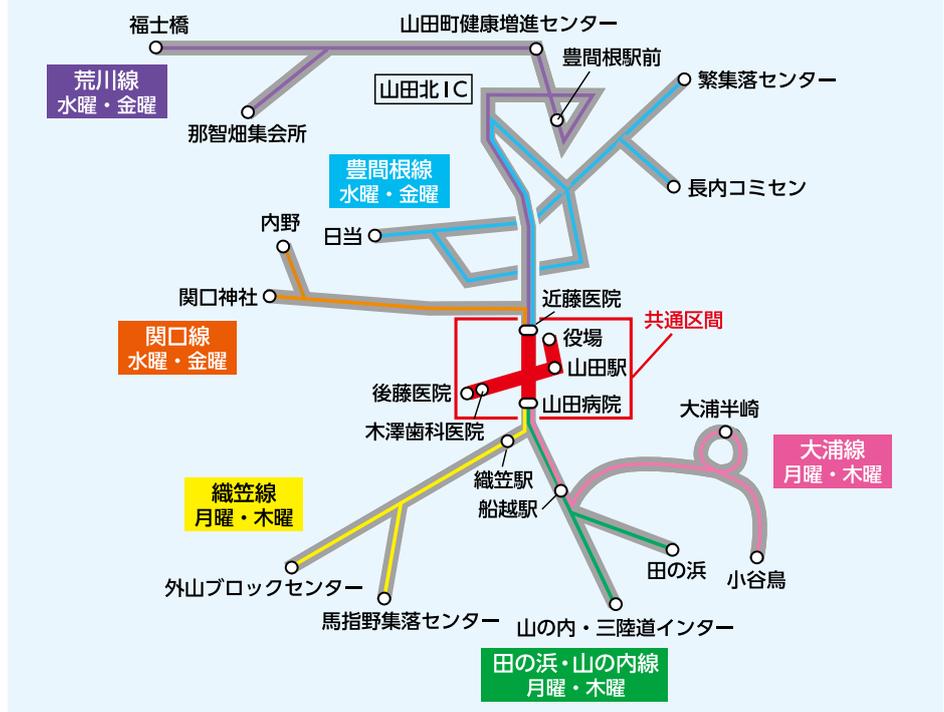
- ・中学生以上…200円
 - ・小学生…100円
 - ・小学生未満…無料
- ※各種障害者手帳を提示した人は半額になります。

フリー降車区間

各集落から出発する便は、バス停のみに停車しますが、各集落に戻る便は、共通区間を過ぎるとフリー降車区間となります。

運行ルート上のお好きな場所で降りることができますので、バスが停車中に運転手にお声がけください。

運行経路(略図)



◆お問い合わせ 町政策企画課まちづくり推進係 ☎82 - 3111内線362へどうぞ。

まちなか循環バス

運賃(一律)

- ・中学生以上…200円
 - ・小学生…100円
 - ・小学生未満…無料
 - ・身体障害者手帳や療育手帳を提示した人…100円
- ※バスカードが利用できません。

- まちなか巡回ルート
- 大沢・浜川目ルート
- 道の駅やまだルート



運行経路(略図)

